

第24組 広報

発行日
2014年5月1日
第159号
発行責任者
組長 美濃部俊裕



就任あいさつ

組長 美濃部俊裕

(来入寺住職)

この度、組長を務めさせていただくことになりました。

真宗大谷派では約10年おきに教勢調査が実施され、宗門の現状と教化活動の実態について調査が行われてきました。今回の調査結果が同朋新聞2月号、真宗4月号に記載されました。その中で「報恩講の参詣者が減った」と回答した寺院の割合が20年前に約17%であったのが、10年前は28%、今回は47%と増えています。一方で「増えた」と答えた寺院が8%ありました。調査分析で同朋会結成率の高い教区、掲示板・寺報など掲示伝道が活発な教区ほど、参詣者の「減少が少ない・増加が多い」ことが明らかになりました。長浜教区に限ると「減った」が20年前11%、今回30%ですが、減少率は全30教区中で一番低いのです。長浜教区が他教区と比べ優れている項目に日曜学校の開設(1位)、月例役員会の開催(1位)組教化事業への参加(3位)、婦人会の結成(5位)などがあり、参詣者数の現状を支えていると考えられます。

私は調査結果を見て宗門の危機と共に長浜教区の強みを感じます。中でも24組は教化予算や事業内容が充実しています。先達が組の教化事業の重要性を見抜かれ取り組んでこられたのです。また現門徒会役員さんを始め、婦人会、壮年会の皆さんは大変熱心に事業に取り組んでくださっています。私は親鸞聖人の教えは間違いのない確かな教えであると思います。微力ながら精一杯務めさせていただきたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。



就任あいさつ

副組長 川那部恵龍

(浄教寺住職)

この度、副組長を務めさせていただくことになりました。

「24組の教化活動は、充実している。」と他の組の方からよく聞くことがあります。これは先輩方が、早くから組としての教化や研修の重要性に着目して、教化活動に取り組んでこられたお陰です。煩惱具足の身ですので、どれだけ組の皆様のお役に立てるかわかりませんが、微力ながら精一杯務めさせていただきたいと思います。

また、東日本大震災以来、「絆」とか「輪」とか人と人のつながりを大事にする言葉が叫ばれています。親鸞聖人は、決して上から「私の教えを聞いたら救われる。」とは言われませんでした。ご門徒を「御同朋」「御同行」と呼ばれ、親鸞聖人と共に本願念仏の教えを聞き、明るく生き生きした人生を歩んでほしいと願われました。そして、人と人とのつながりを大事にされました。

「真宗の修行は、一生の聞法である。」と言われていています。私も組の皆様とのつながりを大事にし、共に「本願念仏の教え」を「親鸞聖人の教え」を聞いていきたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

お寺の掲示板

ゆうぞんじ
猶存寺 (高月町 布施)

「お寺の掲示板」今回は、高月町布施の猶存寺さんを訪問しました。布施は、湧出山の南約五〇〇mのところであり田んぼに囲まれた約二〇戸の集落で、当寺は集落の北部にあります。

正面の右側に掲示板があり『無量寿を生きる私です 生きてよし 死んでよしたゞ今を精一杯 (法味寸言百選)』というお言葉が書かれてありました。高橋恵明老院は、本の中から選んで二ヶ月に一回ほど掲示されるとのことでした。

その内容は、「量り知ることの出来ない命を、気づかずに生きている私です。阿弥陀仏の大慈悲心に守られて生かさせていただいている自分、生きるのも死ぬのも佛にお任せをし、人として佛の教えに照らされて、間違いの無い日々を精一杯生かさせて頂いている私です。」とのことでした。

また、老院は、「自分の思い通りにならないことが、佛さんに近づけさせてもらっている思いをしている。それが解ってくるようになることが、うれしく思う今日この頃である。」とも、話して下さいました。

布施は、「昔からの風土が残っていて、良い人ばかりである。」ともお話しされていました。

皆さんも一度「猶存寺」さんに、お参りされ掲示板のお言葉に触れられたらと思います。

(取材・広報委員 林)



蓮如上人御影道中

御影道中は、蓮如上人の没後、北陸での教化のご苦労とその徳を偲んで、吉崎御坊(吉崎別院)で厳修される御忌に、上人の御影を本山よりお迎えして勤められたのが始まりであると伝えられています。以来、上人が歩いたといわれる約二四〇キロの道程を、随行教導や宰領をはじめとする供奉人(くぶにん)方が御影と共に歩む御仏事として三〇〇年以上の間連綿と続いています。道中は真宗本廟における御下向式「四月十七日」に始まり、約一四〇箇所の会所に立ち寄り上人の御教化にあわれながら、御帰山式(五月九日)をもって終了します。

福井県吉崎別院での御忌法要(四月二十三日〜五月二日)の後、京都真宗本廟に向けて帰路約二八〇キロの道程を八日間かけて帰山されます。

当地には五月五日(月)午後二時三〇分ごろに柳ヶ瀬景好寺に立ち寄りされ、余呉町を経由して夕方には木之本明楽寺にご到着されてお泊まりになられます。明楽寺では、同日午後八時より本堂でお勤めがあり、随行教導の法話があります。是非お誘い合わせてお参りくださるようご案内申しあげます。

(広報委員 秦)



長瀬教区
第14組・24組
合同事業

親鸞聖人誕生会

まちをあそぶ

忍者参上!!

4月20日(日)10時から木之本町木之本の明樂寺・意富布良神社にて第14組と合同で親鸞聖人誕生会を行いました。子ども達の参加は71名、引率の方や保護者の方、スタッフなど全てを合わせると120名を超える大きな催しとなりました。

今回の事業ではテーマを「まちをあそぶ 忍者参上!!」とし、アフタフ・バーバンの方々に東京から来て頂いて(一部メンバーの方は関西方面より合流)忍者修業を行って頂きました。

まず始めに開会式を明樂寺本堂にて行い、真宗宗歌、お勤めをし、24組の美濃部俊裕組長に挨拶をして頂きました。その後に諸注意があり、アフタフ・バーバンの方々に登場して頂き華々しく忍者修業が始まりました。最初は忍者になりきることに消極的であった子ども達も、風呂敷を使って忍者の頭巾を頭に着けて長剣(新聞紙)を避ける修行をしているうちに立派な忍者へと変身していきました。この修業の後には見る修業、聞く修業と続き、事前に各々に配られていたカードを使って5名前後のチームに分かれました。チーム全員で協力して変身する修業をして準備完了、「からくり屋敷」を作り、他の屋敷に潜入し巻物を見つける修業をしました。この修行中は黒忍者に見つかり巻物を奪われるので、隠れたり変身したりしました。この後昼食に「バーバンカレー」とわたがし、ポップコーンがあり、午後の修行「旗取りチャンバラ合戦」を意富布良神社に移動して行いました。この修行では子どもと大人との対決でしたが、兵力は子どもが大人の2倍、体力も子どもが上、作戦の立案も子どもの方が豊富(おとり作戦・奇襲部隊など)とあって、子どもチームが2勝しました。しかし最終戦の1分間、大人の「個人判断作戦なし」作戦により辛くも勝利し、子ども2勝、大人1勝の結果となりました。

明樂寺に戻った後は閉会式が行われ、忍者のお頭から免許皆伝の印として巻物の授与があり、全員で記念撮影を行い、解散となりました。この日は朝から雨が降りそうな曇り空で、午後の修行の終わりから雨が少し降りましたが、終始盛会のもと終了しました。子ども達のパワーや発想にとっても驚かされた1日でした。

明樂寺流忍者
お頭

藤 (青少年部会)

忍者に変身!

絶対勝つぞー!!

からくり屋敷
を作ります

VS

この巻物ホンモノ?
ニセモノ?

あっ!

バーバンカレー

子どもには負けません!



敬 弔

ご生前のご功勞を偲び
謹んで哀悼の意を表します。

石野 礼二 様 (98歳)
(高月町磯野：梅龍寺前住職)
平成26年3月27日命終

組同朋大会のご案内

【日時】6月8日(日) 13時～
【会場】誓海寺(木之本町大音)
【講師】讓 西賢氏(岐阜聖徳学園大学教授)
【講題】たまわる心の健康
— 心の叫びに耳傾けて —
※お誘い合わせご参加 ください

しんらん講座

講師 一楽 真 氏

(大谷大学教授)

— 歎異抄に聞く —

期日
5月19日(月)「弟子一人ももたず」
6月16日(月)「如来からたまわりたる信心」
時間 14時～16時
会場 五村別院
受講料 1回500円

御坊さん人生講座

5月30日(金)「おもうがごとく たすけとぐる
こと、きわめてありがたし」
講師 佐々木 尚氏(鯖江市：専光寺住職)
6月18日(水)「奇しき縁で仏教へ—絵描きになって」
講師 大田 利恵子氏(本願寺派僧侶：挿絵画家)
時間 19時～20時30分
会場 長浜別院大通寺本堂
受講料 1回500円
お問い合わせ 長浜教務所(0749-62-0737)

各寺の法座等のご案内

寺院名	法座名	期 日	法話者
浄教寺(東阿閉)	永代経	6月1日(日) 10時・13時30分	澤面宣了氏
圓行寺(西柳野)	廿日講	6月15日(日) 9時30分	熊野俊史氏
妙覚寺(東柳野)	永代経	6月2日(月) 10時	佐藤義成氏
樹徳寺(田居)	永代経	5月31日(土) 10時・13時30分	橘 善證氏



合唱団員募集中

長浜教区内の有縁の皆様に呼びかけて、来る7月から混声合唱団を発足させます。現在男性16名・女性24名が団員として登録されています。

仏教讃歌などを中心に、将来は発表の機会も考えています。発足までの練習を、来る5月15日(木)・5月24日(土)午後7時30分より、五村別院(旧虎姫町)茶所で行います。特に男性の方を募集しています。一緒に歌いませんか? 年齢・経験不問です。ご参加くだされば幸甚です。

お問い合わせは加田岡(85-4527)まで